

# 草花の播種に就て(二)

東京女子高師助教諭 大 岩 金

2、その上に葉の類を置きます。そして急激な水分の蒸發や、日除や、或は寒さを防ぎ、又雨に洗はれることなどをさけます。或は又床面より五六寸上に框を作りまして、日中丈葎簀を覆ひまして藁にかへることもあります。

3、このやうに致しました上時々見廻りまして水分の補給とか、或は犬猫などの浸入しないやうになど充分の注意を拂ふのであります。

## □、鉢及利用の場合

發芽に必要な條件は前同様であります。之は持運びが容易でありますから、灌水致しますのに如露を使ひませんで、蒔いた鉢を更に水を盛つた他の器の中に静かに浸しまして底から徐々に上つて鉢の土が全部濕ふやうに致します。このやうに

致しますれば種子の流されることも、亦雪のため  
に孔の明くやうな心配もありません。又特に藁な  
どをおきませんで出來ますならば。

1、日蔭であつてなるべく暖かい所に置くこと。

2、或は又朝夕の弱い日には當ても日中の強い  
光線の時には日蔭に運び、又降雨の際にも内に入  
れます。

3、極細かな種子で覆土しないものには、スリガ  
ラスか、新聞紙などで覆つておくこと。

かやうに致しまして發芽を待つのであります。  
發芽に要します日数は花種類、播種の時期、種子  
の新舊などによつて夫々異なりますが、早いのは  
三日位から十日位には大低發芽して參ります。晚  
いのはたまに一ヶ月以上中には一年位も出ないも

のがあります。牡丹のやうなものはその一例であります。

五、三四月頃播種する  
草花の種類

名稱	播種法	開花期	花色	草丈	性質
アゲラタム	床	七月 <small>月</small> —十一月 <small>月</small>	白、紫、青、	五—二〇 <small>寸</small>	不耐冬一年性
ハマギク	床	七—九	白	一〇	耐冬宿根性
コスモス	床	九—十一	白、桃、亦等	一〇—七〇	不耐冬一年性
向日葵	床	七—十	黄、赤、白	二〇—四〇	不耐冬一年性
ノコギリ草	床	七—九	白、桃、赤等	一〇—二〇	耐冬病根性
天人菊	床	六—十一	黄、褐	一〇—二〇	宿根性
百日草	床	七—十一	種々	一〇—四〇	不耐冬一年生
ハルシヤギク	床	七—八	黄、褐	一〇—二〇	耐冬一年性
萬壽菊	床	七—十一	黄、樺	五—二〇	不耐冬一年性
エゾギク	床	六—九	種々	五—二〇	耐冬一年性

栽培法の容易なもの丈を左に表示致します。

備考 表中播種法の「床」とある床播の圃場利用を云ふ。「鉢」とあるは鉢播の鉢及箱利用を云ふ。「直」とあるは直播とするのである。性質の欄の耐冬性のもは之を秋蒔にしてもよいのである。

金蓮花  
鳳仙花  
紅花菜豆  
金雀花  
松葉牡丹  
松蟲草  
カカリア  
アヲセイトウ  
アリサム  
美女櫻  
木犀草  
ジフソフイラ  
トレニア  
雞冠草  
千日紅

床  
床  
直  
床  
直  
床  
床  
床  
床  
床  
直、床  
床  
床  
鉢  
床、鉢  
床

五十一  
六八  
六八  
五十六  
七八  
七十八  
七十九  
六九  
三六  
周年  
四十一  
四十七  
四十七  
五十七  
七十一  
七十一  
七十一  
七十一  
七十一

赤、黄、橙  
種種  
紅  
白、黄  
赤、白、黄等  
紫、白、淡紅  
黄、橙  
赤、黄、白等  
白  
赤、白、紫、  
赤、黄  
白、赤  
紫、白、黄  
赤、黄、白等  
赤、白、紫

五—三〇  
五—二〇  
三〇—七〇  
二〇—五〇  
五  
二〇  
二〇  
一〇  
五—一〇  
三—五  
五—一〇  
一〇  
一〇—二〇  
五—一〇  
五—二〇  
一〇—二〇  
一〇—二〇

半耐冬一年性  
不耐冬一年性  
不耐冬一年性  
耐冬多年性  
不耐冬一年性  
不耐冬一年性  
不耐冬一年性  
耐冬一年性  
耐冬一年性  
耐冬多年性  
耐冬一年性  
耐冬多年性  
不耐冬多年性  
耐冬一年性  
不耐冬一年性  
不耐冬一年性  
不耐冬一年性

雁來紅  
 桔梗  
 ルカウ草  
 ペチユニア  
 花タバコ  
 オシロイ花  
 ホ、キョ  
 三色スミレ  
 香水草  
 紫ツユクサ  
 昇り藤

直	床	床、鉢	床	床	床	床	床、鉢	床	直
七—十一	七—九	六—九	六—十一	六—八	七—八	六—九	七—八	六—八	七—十一
赤、黄、青	紫、白	赤、橙	赤、白、紫	白、淡紅	白、赤、黄	青、後赤	種種	紫、白	白、青、藤等
二〇—四〇	二〇—三〇	一〇—五〇	五—一五	一〇—三〇	一〇—二〇	五—八	一〇	一〇—二〇	一〇—二〇
不耐冬一年性	耐冬宿根性	不耐冬一年性	半耐冬多年性	不耐冬一年性	不耐冬一年性	耐冬一年性	半耐冬多年性	耐冬宿根性	耐冬多(一)年年

## 附記

- 5、晴天の時は夕刻に行ふこと。  
6、根を傷めないやうに定植前に苗床に灌水しておくこと。

但し花の種類に依ては根ばかりでなく莖又は葉を適當の長さに切りつめる場合もあります。

- 本題に關した事柄は未熟ながら大體を申し上げましたつもりであります。折角愛らしい苗を澤山作りましても苗床の場合でありますと、苗床から本圃へ定植し、次に目的を達する迄の手當に就て概略でも申し上げておきませんと、佛造つて魂を入れぬ。とのそしりを思ひまして以下にその方法を極簡端に簡條書にしておきます。詳細には又機會を得ましたら申し述べる事に致します。
- 1、一般の場合は苗床の苗が四五葉の大きさに成長した時に本圃に定植すること。
  - 2、弱い苗又は小さな苗は數回假植をした後に本圃に定植すること。
  - 3、本圃はよく整地して元肥を旋しておくこと。
  - 4、植え替への日はなるべく曇天無風の日を選ぶこと。
  - 5、定植が終れば充分に灌水して二三日根が充分活着するまでは日蔭にしておくこと。
  - 6、根が活着しましたら徐々に日光に當て後には日當を充分にする必要があります。
  - 7、灌水を適度に行ふこと。
  - 8、開花までに發育の状態に應じて追肥を二三回すること。